

人間力を高める教育の充実【越前市教育振興ビジョン】

<わかりやすく深まる授業の実現> <いのちをはぐくむ教育の推進> <夢や目標を抱く子どもの育成> <地域と協働した学校づくりの推進>

令和6年度

神山小学校スクールプラン

越前市神山小学校

子どもが身に付けて欲しい
保護者の願い

- ・思いやりの心
- ・コミュニケーション能力
- ・積極性や自主性
- ・道徳心や礼儀
- ・たくましさや粘り強さ
- ・協調性



めざす児童像

- 助け合い思いやりのある子: 感謝の気持ちを持ち、人にやさしい心で接することのできる子
自己有用感を持ち、すすんでつながろうとする子
- よく考え工夫する子: 学習意欲を持ち、すすんで学ぼうとする子
自分の思いや考えを持ち、説明したり表現したりできる子
- 明るくたくましい子: 明るいあいさつのできる子
基本的な生活習慣を確立し、生活力の向上を図ろうとする子

〈児童の実態〉

- ・人なつっこく、素直。
- ・仲良く協力して学習を行う。
- ・元気が良く、よく遊ぶ。
- ・団結して行事に取り組む。

〈学校の課題〉

- ・学力の定着を、さらに深める。
- ・自ら考えたり、自分たちで解決したりする力を育てる。
- ・挨拶のできる子に育てる。
- ・自己有用感を持ち、自分に自信をもつことのできる子を育てる。



学校教育目標

自ら学ぶ神山っ子

重点目標

A 命を育む教育の推進

- ◎感謝や思いやりの心を大切にし、生きる喜びをもつ子を育てる。
- 神山小学校いじめ防止基本方針に基づき、家庭・地域と双方向に連携しながら、いじめの早期発見・早期解決、不登校0(ゼロ)を目指す。

B 学習指導の充実

- ◎自分の考えを持ち、伝え合い、高め合う力の育成を図る。
- 学習意欲を継続できる授業スタイルを確立する。
- 読書への関心を高め、本に親しむ資質を育てる。

C 健康安全教育の推進

- ◎危機管理の周知・徹底を図り、安全な環境をつくる。
- 家庭と連携して、情報を正しく判断し、健全な生活習慣や体力づくりなどで自らの健康と安全を保ち、強くたくましく生き抜く子を育てる。

D 地域と協働した学校づくり

- ◎地域の自然や歴史・文化・伝統を、地域人材を活用して学習し、郷土に対する誇りと愛情を持ち、社会に貢献できる子を育てる。
- 家庭・地域との連携・協力を深め、開かれた学校づくりに努める。

- A
- ①認め合う学級づくり、縦割り活動等の充実を図り、子どもの居場所づくりや絆を深める集団を作る。→学校へ通うのが楽しいと答える児童 95%以上
 - 2 コミュニケーション力をつけ、明るい挨拶ができる児童を育てる。
→「えめおす」挨拶ができる児童 85%以上
 - 3 係の仕事や家庭での手伝いを通して、自己有用感を高める。
→自分の役割をきちんと果たすと答える児童 90%以上

- B
- ①目的に応じた効果的なICTを活用を含め、つきたい力を明確にし、考えを深め合うことのできる授業スタイルを確立する。
 - 2 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着に努める。
→授業がわかると答える児童95%以上
 - 3 子どもが本を手に取りたくなるような環境を整える。
→読書や記事を読むことが好きと答える児童 80%以上

- C
- ①学校内外における安全対策や、登下校の安全確保に努める。(危機管理)
→学校のきまりや元気チェック、交通ルールを守り、健康で安全に生活する児童 95%以上
 - 2 メディアの利用の仕方と健康の関わりについて、興味関心を高める指導を行う。
→メディアコントロールなどのルールを守る児童 85%以上

- D
- ①ふるさとを愛し、誇りと夢をもつ児童を育成するために、各学年で地域と協働した体験活動を年間計画に計画的に取り入れる。
→地域に誇りをもつ児童 90%以上
 - 2 学校の様子や、地域との連携を、積極的に発信する。
→学校は教育内容を適切に伝えていると答える保護者 95%以上

研究テーマ

思いを伝え合い、考えを深め合うことのできる神山っ子の育成
～ 学びを深める「神山スタイル」の授業展開を通して ～

子どもとふれあう時間を増やす業務改善

時間外在校等時間80時間以上教員0(ゼロ)、年休を取得しやすい職場づくりを目標とし、

- ① 会議・研修等の時間設定
- ② 保護者との連絡やお便りのデジタル化推進
- ③ DX推進による業務効率の向上
- ④ 目標退勤時間(19時まで)と各自ノー残業デーの設定と遵守
- ⑤ 校務分掌、学校行事の改善と全体業務の適正化